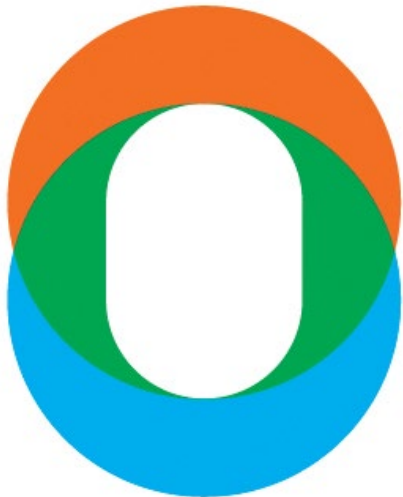


令和2年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

ともに生きる



プラごみゼロ

活動団体名：京都府亀岡市

活動地域：京都府亀岡市を
中心とするエリア

活動テーマ：環境を軸とした
地方創生SDG s

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

地域の課題 郷土愛の醸成、地域ブランドの確立

地域経済循環率と住民所得の向上、意識の共有

地域の資源 豊かな自然、保津川、霧、盆地、三大観光、農畜産物、子ども

霧の芸術祭、ふるさとエナジー、スタジアム、亀山城址、ホテル、郷土料理

地域性の保全・涵養 環境

(4) 環境

「ゼロエミッション」の実現

(短期目標)

- ✓ プラごみゼロ
- ✓ 廃棄物の減量
- ✓ 環境意識の醸成

(5) アート

「芸術祭」による地域性の具現化

- ✓ 芸術祭の通年開催
- ✓ 拠点施設整備

- ・教育の場の提供
- ・体験素材の提供

【取り組み団体】
環境事業公社／ソフトバンク
／ユニクロ／ブリタジャパン

- ・担い手育成
- ・支持者／リピーターの獲得

【取り組み団体】
亀岡市教育委員会／教育機関
／亀岡アグリツーリズム振興協議
会／観光協会／森の京都DMO
／JTB

交流を通じた人材育成 社会

(6) 教育

グローバルな人材育成

(短期目標)

- ✓ 環境教育の充実
- ✓ 英語教育の実施
- ✓ 実施校の拡大

(7) 観光

100人が100回来たくなる交流づくり

- ✓ エコツーリズム
- ✓ 企業との連携
- ✓ 運営主体の発足

多文化共生による郷土愛の醸成と地域内資源循環による経済活性化

(8) 全体調整【取り組み団体】亀岡市役所／世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会

経済とインフラの再編

経済

(1) 農業

地産地消と高付加価値化（外商）

(短期目標)

- ✓ 販売促進の場づくり
- ✓ 独自認証／ブランド制度の検討

(2) エネルギー

地域全体での自給自足

- ✓ 地域新電力会社による地域内エネルギーの普及

(3) 交通

次世代モビリティ技術の地域実装

- ✓ 乗合い型交通（ワゴン、タクシー）の導入・普及

- ・資源の換金
- ・インフラの提供

【取組み団体】
ふるさとエナジー(株)

- ・素材や場の提供
- ・インフラの提供

【取組み団体】
総合地球環境学研究所／
京都オーガニックアク
ション／自治会／京都タ
クシー／京阪京都交通／
京都先端科学大学

- ・担い手育成
- ・観光面での利用

- ・地域資源の提供
- ・感性への訴求

【取り組み団体】
保津川遊船／NPO
プロジェクト保津
川／かめおか霧の
芸術祭実行委員会

地域のありたい未来の実現のために **今年度取り組んだこと**

○プラごみゼロ関連事業

- ・ プラ製レジ袋提供禁止条例施行（2021年1月1日）
- ・ 代替となる紙袋の共同購入の仕組みづくり・補助事業の実施
- ・ かめおか霧の芸術祭と連携した情報発信（ポスター・チラシ・展示等）
- ・ 企業によるHOZUBAG製品化、雇用創出
- ・ 「プラごみゼロ」クーポンキャンペーン実施
- ・ 市内イベントでのリユース食器の利用促進補助事業開始
- ・ さかなクンを講師に迎えた講演会の実施
- ・ 市内公共施設に給水スポットを整備、市内事業所での給水スポット募集開始

○再生可能エネルギー普及事業

- ・ 市下水処理場での消化ガス発電開始、市内事業所等の敷地内での太陽光パネル設置による地域内エネルギーの供給可能量（調達量）の増強
- ・ かめおか脱炭素宣言（2021年2月15日）

○企業連携による教育事業

- ・ 小学校→Pepperを活用した環境学習、外国語学習（ソフトバンク株式会社）
- ・ 中学校→環境や難民問題等、SDGsに関する教育事業（株式会社ユニクロ）
- ・ 高等学校→環境教育の実施と取組みの企画・提案（ブリタジャパン株式会社）

○農産物販売促進の場づくり

- ・ かめおか霧の芸術祭実行委員会と連携した農産物の移動販売事業「やおやおや」やマルシェを実施

地域のありたい未来の実現のための「事業のタネ」

1	事業名	ライフスタイルの改革を促す「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業		
	概要	ごみを出さない地域社会の実現を目指し、これまでの大量生産・大量消費型のライフスタイルの変革を目指す。環境を切り口にした地域循環共生圏形成の礎となる「消費者の環境意識」を醸成・共有する。マイバッグ持参率100%に向けて継続して取り組み、ペットボトルやプラ容器など他の使い捨てごみの削減や再資源化率の向上を推進する。		
	課題・ボトルネック	消費者と事業者理解の獲得	力を借りたい人物・企業像	環境問題等に積極的に取り組む企業・事業者

2	事業名	亀岡ふるさとエナジー株式会社によるエネルギーの地産地消事業		
	概要	亀岡市内において、行政・企業・市民が連携し、太陽光や消化ガス等のエネルギーを地産地消することで、エネルギー代金の域外流出を削減する。		
	課題・ボトルネック	供給可能量（調達量）と供給先増強	力を借りたい人物・企業像	市内事業所、地域の工場や敷地

3	事業名	企業連携やICTを活用した教育の充実によるグローバルな人材育成事業		
	概要	市内の小学校や中学校、高等学校において、世界的な企業と連携して環境学習や外国語学習など、教育の充実を図る。また、地域の状況や取り組みを織り交ぜたコンテンツを作成・使用することで、地域の未来を担う若い世代の郷土愛を醸成し、広い視野を持ったグローバルな人材を育成する。		
	課題・ボトルネック	市内小中学校での導入促進	力を借りたい人物・企業像	教育コンテンツ・システムの構築に必要な各種分野の専門家

今年度の環境整備の取組による地域の変化や気づき

話を聞きに行く！

- これまでの取組みの中から新たに旅行関係の事業者が加わった。
- また、取組みを進める中で、様々な企業の方と情報交換の場を設けることができた。

地域のコンセプトを描く！

- 勉強会等で地域資源や課題を考える際に、既存のマンドラが良いきっかけになった。
- マンドラの中で企業や団体名を明記することで、大きな取組みの中での立ち位置を感じてもらいやすくなった。

事業のストーリーを語る！

- 事業のタネとして施策を整理することで、勉強会等で新たなステークホルダーや関係者に取組みを説明しやすくなった。

地域の目標を立てる！

- 指標としての採用には至らなかったが、指標間の関連性や更新を考える中で、環境教育の場からこれまでは得ることができなかった学生グループの意識調査アンケートなどの情報を知ることができた。

2ヶ年の取組におけるボトルネックや新たに見えてきた課題

- ボトルネック

非常に大きな目標であるため、「なんとなく」伝わるが、
いざ何か始めようとしても何をしたら良いか分からない
→今後もマンガラをブラッシュアップし、取組みを整理しながら進めていきたい。

- 課題

多様なステークホルダーの意識の共有と向上
関係者の中でも温度差がある
→意見・情報交換の場を設け、取組みに対する理解や意欲を向上させたい。

今後の展望

事業のタネにも挙げている「かめおかプラごみゼロ宣言」に係る取組みは、本市の環境先進都市に向けた施策の中で重点を置く施策です。

宣言では、「2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指します。そして、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』」を目標に掲げています。

これは、経済・社会・環境の三側面の統合的向上を目指すものであり、地域循環共生圏を目指す社会像と同じ目標です。

こういった政策に対しては、市民や事業者の協力が不可欠であり、持続可能性を担保するためにも、民間投資の呼び込みも必要であると考えます。

今後は、特色ある地域ビジネスモデルの形成や産業の集積を目指し、雇用や所得を生み出し、多様な事業主体が行政の補助金に依存せず、環境・経済・社会などのまちづくり政策に参画できる地域社会を目指していきたいと考えています。